

I 施設の概要		施設コード	S05-01-03	
施設名		ムーブ町屋		
所在地		荒川七丁目50番9号 センターまちや3階・4階		
部課名		地域文化スポーツ部文化交流推進課		
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
	建築	平成8年	4,970,000	0
	増改築①			
	増改築②			
併設施設		-		
竣工年月日			区職員	その他
供用開始年月日		平成8年6月1日	職員数	0人
構造		SRC造	階層	地上22階、地下2階の内、3・4階部分
面積	敷地面積		3221.29㎡の一部	
	延床面積		25557.45㎡の内、2201.11㎡	
設置目的・経緯		区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。		
関連部署		土木管理課、就労支援課、区民課		
根拠法令等 設置条例		荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則		
駐車場の状況	1台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ
駐輪場の状況	22台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



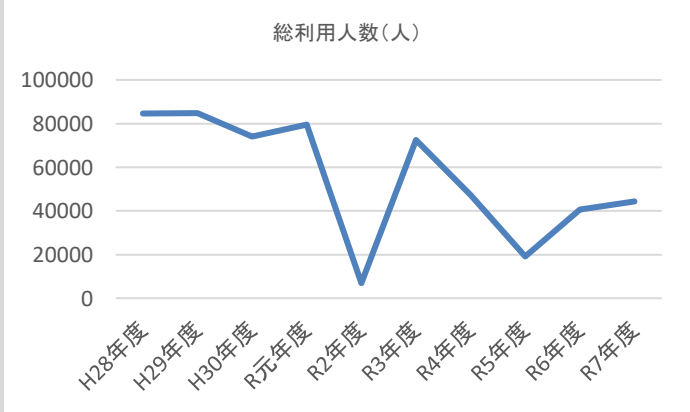
管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	令和5年4月1日	から	
				令和10年3月31日	まで	
事業内容	○施設の利用に関する事業（利用等の承認・不承認・取消、利用料金の収納・減免・還付を含む） ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始（12月29日～1月3日）及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	総利用人数（人）	47,178	19,167	40,551	44,300	50,000
	ホール年間利用者数（人）	28,591	15,664	31,287	34,580	39,050
	スタジオ年間利用者数（人）	1,818	957	2,664	3,022	3,400
	ムーブホール稼働率（％）	57	65	50	57	60
	スタジオ稼働率（％）	46	45	56	62	65
	催し物利用状況（件）	844	566	1,231	1,381	1,560
に指定 用係等 管理 費理	指定管理料（千円）	40,446	34,994	36,221	33,925	38,235
	指定管理者の支出合計（千円）	66,410	46,461	64,048	58,639	106,047
	指定管理者の人件費（千円）	38,336	24,620	35,687	29,570	46,304
	指定管理者の利用料金収入（千円）	23,855	10,424	20,275	23,020	56,518
備考	令和7年度は、令和6年度と比較し、利用者、稼働率及び催し物利用状況の全ての項目が増加した。					

行政コスト計算書	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費		0		0		行政収入	地方税等		0		0	
		物件費		38,345		37,672	▲ 673		国庫支出金		0		0	
		維持補修費		5,118		1,211	▲ 3,907		都支出金		0		0	
		扶助費		0		0	0		分担金及び負担金		0		0	
		補助費等		52,002		49,565	▲ 2,437		使用料及び手数料		0		0	
		減価償却費		78,797		78,797	0		その他		47		47	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0	0		行政収入合計(a)		47		47	
		賞与・退職給与引当金繰入額		0		0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 174,215	▲ 167,198		7,017	
	その他行政費用		0		0	0	金融収支差額(d)		0		0			
行政費用合計(b)			174,262		167,245	▲ 7,017	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 174,215	▲ 167,198		7,017		
特別費用(g)			0		2,260	2,260	特別収入(f)			0		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0		▲ 2,260	▲ 2,260	当期収支差額(e)+(h)		▲ 174,215	▲ 169,458		4,757		
貸借対照表	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済		0		0		流動負債		0		0		
		不納欠損引当金		0		0	0		還付未済金		0		0	
		その他の流動資産		0		0	0		特別区債		0		0	
	固定資産	有形固定資産		2,239,762		2,160,965	▲ 78,797		賞与引当金		0		0	
		土地		1,516,648		1,516,648	0		その他の流動負債		0		0	
		建物		2,806,964		2,806,964	0	固定負債		0		0		
		建物減価償却累計額	▲ 2,083,849	▲ 2,162,646	▲ 78,797		特別区債		0		0			
		工作物等		0		0	0	退職給与引当金		0		0		
		工作物等減価償却累計額		0		0	0	その他の固定負債		0		0		
		無形固定資産		0		0	0	負債の部合計		0		0		
		建設仮勘定		2,260		0	▲ 2,260	正味財産		2,242,022		2,160,965	▲ 81,057	
		その他の固定資産		0		0	0	正味財産の部合計		2,242,022		2,160,965	▲ 81,057	
	資産の部合計			2,242,022		2,160,965	▲ 81,057	負債及び正味財産の部合計			2,242,022		2,160,965	▲ 81,057
備考	物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。令和7年度の維持補修費の主な内訳は雑排水管改修工事費である。補助費等の主な内訳はセンターまちや管理運営費等の負担金である。													

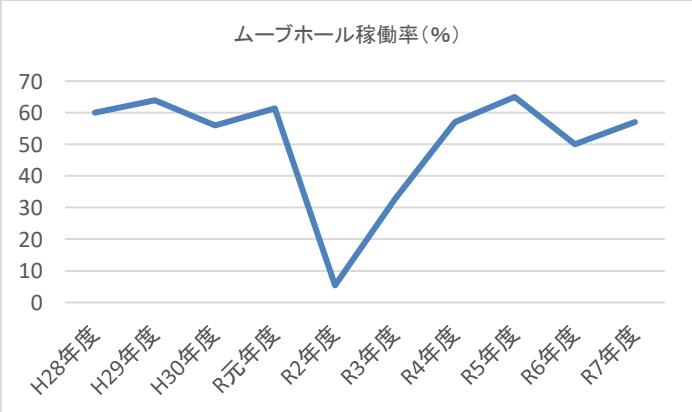
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	73	71	74.2	77.0	77.0
	1㎡当たりコスト（円）	88,643	74,142	79,170	75,982	75,982
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	58	53.0	55.7	50.4	43.7
	受益者負担比率（％）	11	6.0	10.0	12.0	20.7
	利用者1人当たりのコスト（円）	4,136	8,514	4,297	3,775	3,345
	開館1日当たりのコスト（円）	543,493	454,579	485,409	465,864	465,864
	区民1人当たりコスト（円）	898	751	802	770	770
備考	令和7年度は工事休館は発生せず、また令和6年度と比較し工事休館に伴う利用料金収入の補填が指定管理料に含まれていないため、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりのコスト及び区民1人当たりコストが減少した。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用人数	目標値 実績値	80,000 47,052	75,000 19,167	50,000 40,551	45,000 44,300	50,000 50,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成8年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応						
現状・課題	○施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守による維持管理に努め、修繕の実施に あたっては、指定管理者とセンターまちや管理組合との連絡・調整が必要である。 ○利用者アンケート等、日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。 ○地域の賑わい創出及び利用者の拡大を図るため、自主事業等の積極的な企画・実施が求めら れる。 ○日々の運営について町屋区民事務所と連携をし、円滑な施設運営に努める必要がある。						
課題に対する 現時点での考え	○施設をはじめ、町屋区民事務所や関係部署とも調整し、今後の修繕計画について検討する。 ○利用者のニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と密に連携し、利用者満足度や サービスの向上に努める。 ○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向け、施設の特性を活かした自主事業等を実施し、 施設の魅力度及び認知度の向上に向けた取り組みを検討する。						
議会、利用者等 からの意見							



令和2年度は緊急事態宣言、令和5年度は半年間の工事休館の影響により、利用人数が減少となった。



令和2年度は、緊急事態宣言による休館の影響により稼働率が大幅に低下し、令和6年度は前年度の工事休館が影響し、稼働率が低下した。

I 施設の概要		施設コード	S05-01-01			
施設名	区民会館（サンパール荒川）					
所在地	荒川一丁目1番1号					
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位：千円)	財源内容（単位：千円）			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	昭和50年	1,950,000			
	増改築①	平成4年	1,540,000	0	0	1,540,000
増改築②	平成27年	2,460,000	110,000	1,940,000	410,000	
併設施設						
竣工年月日	昭和50年3月26日		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和50年3月26日	職員数	0	44		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	階層	地下1階、地上6階			
面積	敷地面積	4279.01㎡				
	延床面積	10044.09㎡				
設置目的・経緯	区民の文化振興のため					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区民会館条例					
駐車場の状況	18台	バリアフリー 対応状況	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	111台		●点字ブロック	●スロープ		



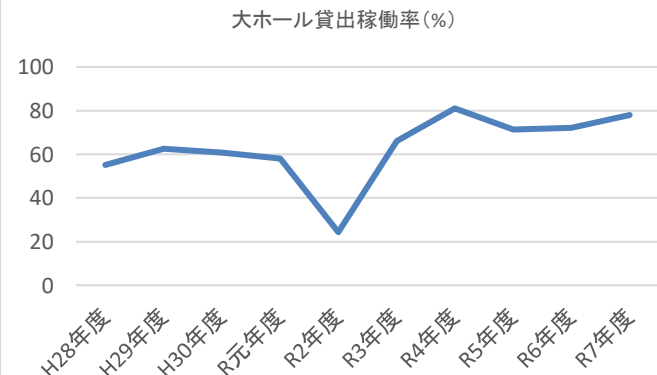
管理形態	指定管理	(株)ケイミックスパブリックビジネス	期間	令和5年4月1日	から	
				令和10年3月31日	まで	
事業内容	○施設の利用に関する事業（利用等の承認・不承認・取消、利用料金の収納・減免・還付を含む） ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び施設利用者					
運営時間等	運営時間	午前9時から午後10時まで				
	休日	年末年始（12月29日～1月3日）及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	大ホール年間利用者数（人）	91,958	130,343	102,791	121,229	130,000
	小ホール年間利用者数（人）	28,593	42,063	38,187	44,772	45,000
	集会室年間利用者数（人）	89,397	67,767	55,348	49,126	50,000
	大ホール貸出稼働率（％）	81	71	72	78	80
	小ホール貸出稼働率（％）	65	67	67	72	75
	集会室貸出稼働率（％）	56	44	40	42	45
	催し物利用状況（件）	723	665	614	616	650
に指定 用係等 管理 費理	指定管理料（千円）	161,540	167,815	176,325	178,326	183,368
	指定管理者の支出合計（千円）	230,480	233,359	249,019	259,299	252,975
	指定管理者の人件費（千円）	32,592	31,611	37,297	43,617	41,194
	指定管理者の利用料金収入（千円）	97,261	88,411	93,496	93,957	68,377
備考	令和5年度の新型コロナウイルス感染症5類移行後は、大・小ホールともに利用者数の増加が顕著となった。令和6年度及び令和7年度については、改修工事による休館の影響により、令和5年度と比較して利用者が減少した。					

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	198,075	200,490	2,415		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	276,394	63,226	▲ 213,168		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	121	121	0		使用料及び手数料	3,417	3,212	▲ 205	
		減価償却費	846	846	0		その他	7,414	4,615	▲ 2,799	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	10,831	7,827	▲ 3,004	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 464,605	▲ 256,856	207,749	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	▲ 2,239	▲ 512	1,727	
行政費用合計(b)		475,436	264,683	▲ 210,753	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 466,844	▲ 257,368	209,476		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 466,844	▲ 257,368	209,476		
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		404,962	17,331	▲ 387,631	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	404,962	17,331	▲ 387,631	
	固定資産	有形固定資産	140,522	268,575	128,053		賞与引当金	0	0	0	
		土地	125,538	125,538	0		その他の流動負債	0	0	0	
		建物	1,971,187	2,099,667	128,480		固定負債	154,564	137,232	▲ 17,332	
			建物減価償却累計額	▲ 1,956,202	▲ 1,956,630	▲ 428		特別区債	154,564	137,232	▲ 17,332
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金		0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債		0	0	0	
			無形固定資産	0	0	0	負債の部合計		559,526	154,563	▲ 404,963
			建設仮勘定	51,300	0	▲ 51,300	正味財産		▲ 346,292	135,006	481,298
			その他の固定資産	21,412	20,994	▲ 418	正味財産の部合計		▲ 346,292	135,006	481,298
	資産の部合計		213,234	289,569	76,335	負債及び正味財産の部合計		213,234	289,569	76,335	
備考	物件費の主な内訳は指定管理者委託料、令和7年度の維持補修費の主な内訳は舞台音響・外壁等の改修工事費であり、前年度より減となっている。行政収入のその他は指定管理者からの利益納付金（収支差額の1/2）や光熱水費受入である。										

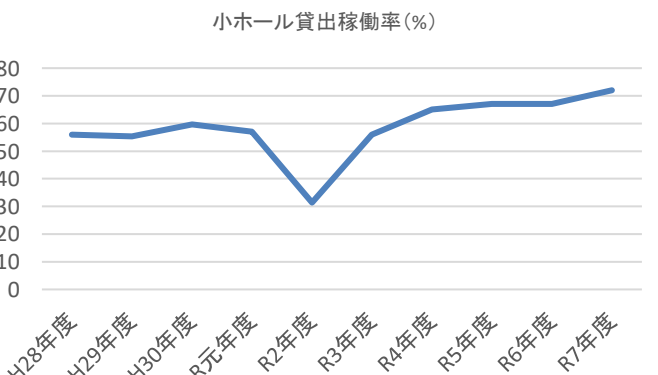
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	99	99	99.2	93.2	93.2
	1㎡当たりコスト(円)	17,551	19,336	47,335	26,352	26,352
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	14	14	15.0	16.8	16.3
	受益者負担比率(%)	38	34.0	17	27.2	20.5
	開館1日当たりコスト(円)	491,039	540,975	1,324,334	737,279	737,279
	利用者1人当たりコスト(円)	840	809	2,422	1,230	1,176
	区民1人当たりコスト(円)	811	894	2,189	1,218	1,218
備考	令和6年度及び令和7年度は改修工事の実施等により、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりのコスト、区民1人当たりのコストが増加している。					

Ⅳ 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用人数	目標値	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
		実績値	209,948	240,173	208,726	215,127	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合 ○ 廃止				
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成2年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応						
現状・課題	○平成4年度(第1回)、平成27年度(第2回)に大規模改修を実施した。 ○施設の老朽化を踏まえ、計画的に修繕を行う等、施設の保全に努める必要がある。 ○敷地の一部が東京都市計画道路補助線街路第90号線の予定地であるため、整備後に施設運営に支障がでないよう、関係機関と調整を図る。 ○多様化する催事内容・利用者ニーズ等へ柔軟に対応することが求められる。 ○さまざまな事業を実施し、区民が芸術・文化に親しむことができる環境を整備する必要がある。						
課題に対する 現時点での考え	○都市計画道路整備の影響が最小限となるよう関係機関に調整していく。 ○利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、指定管理者と施設の運営方法やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。 ○ラウンジを活用した賑わい創出や自主事業のさらなる充実等について、指定管理者と協議をしていく。						
議会、利用者等 からの意見	令和2年度9月会議 「サンパール荒川の今後の在り方について」 令和5年決特 「宴会利用について」 令和6年予特 「移転建て替えの検討について」 「大規模改修について」						



令和2年度は、緊急事態宣言による施設の休館等があったため稼働率が大幅に減少したが、令和3年度以降は感染状況の改善等に伴い、増加に転じた。



令和2年度は、緊急事態宣言による施設の休館等があったため稼働率が大幅に減少したが、令和3年度以降は感染状況の改善等に伴い、増加に転じた。

I 施設の概要			施設コード		S05-01-02		
施設名			日暮里サニーホール				
所在地			東日暮里五丁目50番5号 アートホテル日暮里ラングウッド4階・5階				
部課名			地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成元年	2,000,000	0	0	2,000,000
		増改築①					
		増改築②					
併設施設			-				
竣工年月日					区職員	その他	
供用開始年月日			平成元年2月9日	職員数	0人	12人	
構造			SRC造	階層	地上13階、地下3階の内、4・5階部分		
面積			敷地面積	3100.03m ² の一部			
			延床面積	23562.71m ² の内、2311.28m ²			
設置目的・経緯			区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署			経理課				
根拠法令等 設置条例			日暮里サニーホール条例及び条例施行規則				
駐車場の状況		3台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況		無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ		



管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	令和5年4月1日	から
				令和10年3月31日	まで
事業内容	○施設の利用に関する事業（利用等の承認・不承認・取消、利用料金の収納・減免・還付を含む） ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業				
対象者	区民及び施設利用者				
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで			
	休日	年末年始（12月29日～1月3日）及び工事、保守点検日			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	総利用者数（人）	63,054	90,249	66,534	92,661	95,000
	ホール年間利用者数（人）	35,013	54,468	39,864	53,557	55,100
	サロン年間利用者数（人）	19,305	24,526	19,169	27,356	28,500
	ホール稼働率（％）	52	69	68	64	75
	サロン稼働率（％）	79	82	88	86	90
	催し物利用状況（件）	801	964	679	1,047	1,230
に指定管理に係る費用等	指定管理料（千円）	49,455	35,735	45,016	39,492	49,379
	指定管理者の支出合計（千円）	95,846	96,174	87,300	97,809	65,329
	指定管理者の人件費（千円）	46,401	45,544	36,488	43,356	33,101
	指定管理者の利用料金収入（千円）	46,653	58,008	39,834	57,010	26,944

備考	新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度以降は、設備等改修工事による休館が発生した令和6年度を除き、利用者数が増加している。
----	---

(単位：千円)

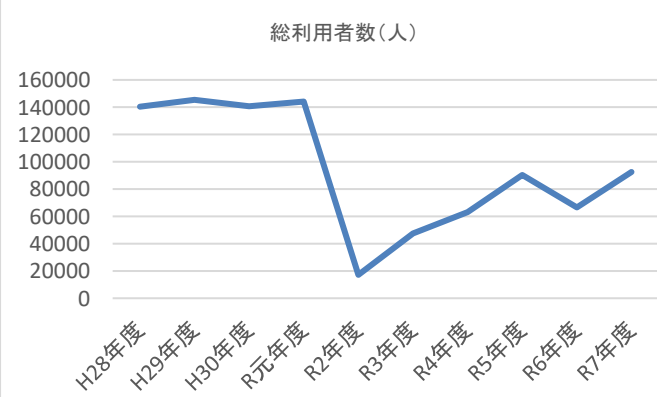
行政コスト計算書	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額						
	行政費用	給与関係費		0		0	行政収入	地方税等		0		0		0						
		物件費		49,035		46,363		▲ 2,672	国庫支出金		0		0		0					
		維持補修費		0		0		0	都支出金		0		0		0					
		扶助費		0		0		0	分担金及び負担金		0		0		0					
		補助費等		12,232		11,925		▲ 307	使用料及び手数料		0		0		0					
		減価償却費		36,010		46,063		10,053	その他		5,760		5,829		69					
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0		行政収入合計(a)		5,760		5,829		69						
		賞与・退職給与と引当金繰入額		0		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 91,517		▲ 98,522		▲ 7,005						
		その他行政費用		0		0		金融収支差額(d)		0		0		0						
行政費用合計(b)					97,277		104,351		7,074	通常収支差額(c)+(d)=(e)					▲ 91,517		▲ 98,522		▲ 7,005	
特別費用(g)					0		2,938		2,938	特別収入(f)					0		0		0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)					0		▲ 2,938		▲ 2,938	当期収支差額(e)+(h)					▲ 91,517		▲ 101,460		▲ 9,943	
貸借対照表	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額						
	流動資産	収入未済		0		0	流動負債			0		0		0						
		不納欠損引当金		0		0		還付未済金		0		0		0						
		その他の流動資産		0		0		特別区債		0		0		0						
	有形固定資産		208,349		162,285	▲ 46,064		賞与引当金		0		0		0						
	固定資産	土地		0		0	その他の流動負債		0		0		0							
		建物		1,504,708		1,504,708	0	固定負債		0		0		0						
		建物減価償却累計額		▲ 1,296,360		▲ 1,342,423	▲ 46,063	特別区債		0		0		0						
		工作物等		0		0	退職給与引当金		0		0		0							
		工作物等減価償却累計額		0		0	その他の固定負債		0		0		0							
		無形固定資産		0		0	負債の部合計		0		0		0							
		建設仮勘定		2,938		0	▲ 2,938	正味財産		214,287		165,285		▲ 49,002						
		その他の固定資産		3,000		3,000	0	正味財産の部合計		214,287		165,285		▲ 49,002						
		資産の部合計					214,287		165,285		▲ 49,002	負債及び正味財産の部合計					214,287		165,285	

備考	物件費の主な内訳は指定管理委託料である。補助費等の主な内訳はラングウッド駐車場建物管理業務経費等負担金及びラングウッドビル計画修繕補修工事等負担金である。
----	--

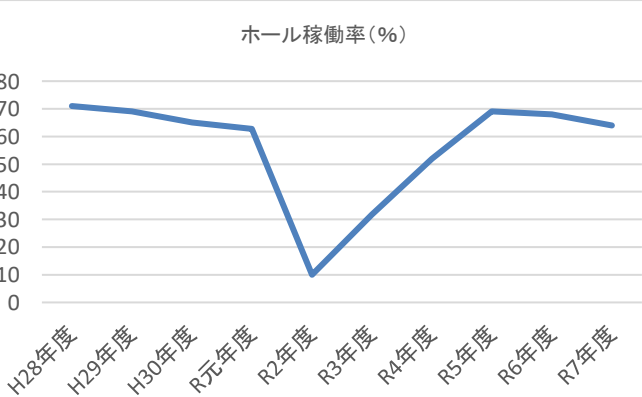
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	92	95	86.2	89.2	89.2
	1㎡当たりコスト（円）	42,990	39,492	42,088	45,149	45,149
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	48	47	41.8	44.3	50.7
	受益者負担比率（％）	32.0	38	29	35.0	15.9
	開館1日当たりコスト（円）	276,774	254,253	270,967	290,671	290,671
	利用者1人当たりコスト（円）	1,576	1,011	1,462	1,126	1,098
	区民1人当たりコスト（円）	457	420	448	480	480
備考	令和7年度は、工事休館が発生しないなどの影響により、開館1日当たりのコスト、利用者1人当たりコスト、区民1人当たりコストが減少している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用人数	目標値 実績値	145,000 63,054	90,000 90,249	95,000 66,534	95,000 92,661	95,000 95,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合 ○ 廃止				
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成1年度:荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度:指定管理者制度導入) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応						
現状・課題	○施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守による維持管理に努め、修繕の実施に あたっては、指定管理者とホテルラングウッドとの連絡・調整が必要である。 ○利用者アンケート等、日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。 ○地域の賑わい創出及び利用者の拡大を図るため、自主事業等の積極的な企画・実施が求められる。						
課題に対する 現時点での考え	○関係部署や施設、アートホテル日春堂ラングウッドと調整し、今後の修繕計画について検討する。 ○利用者ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と密に連携し、利用者満足度やサービスの向上に努める。 ○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向け、施設の特性を活かした自主事業等を実施し						
議会、利用者等 からの意見							



令和2年度は緊急事態宣言、令和5年度は工事休館の影響により、利用人数が減少となった。



令和2年度は、緊急事態宣言による休館の影響により稼働率が大幅に低下し、令和6年度は工事休館が影響し、稼働率が低下した。